

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール朝霞台		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児に楽しく通ってもらうこと	・お子様の得意や好きを活かしたプログラム内容を考え、苦手 にアプローチしていること ・シール帳での次への期待感を提供したり、お子様のやってみ たいというつぶやきの内容を、可能な限り次回以降に取り入れ る事	お子様や保護者様の要望を取り入れながら、お子様の発達段 階に合っているかどうかの見極めも大切にしていきたい。
2	・保護者様のお話を丁寧に聞き取っていること	・振り返りの時間などを活用し、保護者様の喜びや悩みに寄り 添っている ・家族支援加算での対応なども提案し、時間の提供を工夫して いる ・地域資源の紹介や事業所間のつながり、相談員さんとの連携 などみんなで支える姿勢を取っている	療育を見ている時間の寄り添いは、希望されない方もいらっ しゃるので今後は保護者様の要望の中で対応していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門性、特に言語面についての取り組み	言語面は生活に密接な分野なので、要望も出やすくまた成長の 度合いも分かりやすい。感覚調整などの考え方よりも保護者様 にとって切実である。	引き続き、言葉の発達における土台から成長の段階の説明を 丁寧に言い、語彙数や概念などを具体的な数や表を用いるな どして成長を確認し合う事も工夫の一つだと感じる
2	ビルの2階という立地上、階段の利用がある。見送りの際、玄 関の外に出てご挨拶をしているが、人・自転車などの往来もあ り時間が掛かる事が危険にもつながるのではないかと危惧して いる。	階段は危険もあり付き添いをしたいが、挨拶は敷地内で行う事 でスムーズな送り出しになるのではないかと。また、人目を気に される方も利用者の中にはいらっしゃるかもしれず、その配慮 にもなるのではないかと。	階段下駐輪スペースにて、挨拶の場所を作り、挨拶を中で済 ませる。自転車の対応など必要に応じて玄関の外での対応も 継続するが、基本的には敷地内での送りとする。